

令和4年度温泉地学研究所研究成果発表会プログラム

日時：令和4年11月30日（水） 14:00～16:00（13:00 受付開始）

開催方法：温泉地学研究所2階会議室+オンライン（ZOOM）開催

■開会挨拶

14:00-14:05 温泉地学研究所長 板寺 一洋

■口頭発表（括弧内は発表者）

(1) 14:05-14:30 源泉一斉調査から見る箱根湯本温泉の特徴（二宮 良太）

日本有数の温泉観光地として知られる箱根湯本の源泉について、温泉資源の現状把握を目的とする一斉調査を実施しました。本調査の成分分析結果より、箱根湯本地区の温泉の特徴や温泉資源の現状について報告します。

(2) 14:30-14:55 2021年の地震活動と箱根山の火山活動について（長岡 優）

神奈川県およびその周辺地域を中心とした2021年の地震活動の概要と箱根山の火山活動についてお話しします。

(3) 15:00-15:25 神奈川県に向かって近づいてくるフィリピン海プレートの地殻構造（安部 祐希）

神奈川県に向かって移動するフィリピン海プレートは神奈川県の西側には衝突していますが、東側には沈み込んでいます。その違いを生む原因や陸側のプレートとの運動の食い違いがどこで起きているのかについて考えるために、フィリピン海プレートの地殻構造を明らかにしました。

(4) 15:30-15:55 人工衛星データからみる箱根火山浅部熱水系の構造について（道家 涼介）

人工衛星に搭載された合成開口レーダー（SAR）は、地表に観測点を設置することなく、地表面をスキャンするように、面的に地殻変動を捉えることができます。本発表では、この手法から明らかとなった、箱根火山浅部熱水系の構造について報告します。

■閉会挨拶

15:55-16:00 研究課長 菊川 城司